

「つなぎ塾」第1回目(2/2)を開催しました

平成24年度生涯学習実践交流会が2月2日(土)から始まりました。
「つなぎ塾」～“ひと”と“ひと(地域・企業・行政等)”をつなぐコツ～と題して、CSO活動をされている方を対象に、「協働」と「広報」についての勉強会を開催します。

この「つなぎ塾」は、「ここぞ!」という時に、地域の課題解決に向けて、一緒に取り組む人たちを「つなげる場所」です。

※講座内容は、こちらの  [チラシ](#)(579KB; PDFファイル)をご覧ください。
※第2回(2/23)への受講を希望する方は、事前にお申込みください。

第1回「地域課題を解決するために」～相手(地域・企業・行政等)を理解し、協働するコツを学ぶ～

【講師】十時裕(ときひろし)さん(株式会社アーバンデザインコンサルタント取締役)



まず初めに、地域の力による課題の解決(まちづくり)には「対話」しかない! ということで、対話とはどういうことなのか、対話を生み出すのに効果的なワークショップ(参加型)とは何なのかについて確認しました。

「対話」することにより、情報(状況)の共有ができ、そこから、共感や共鳴が生まれる。向かい合って話すことにより、テーマの本質や意味を探究・発見し、参加や行動につなげることができる。また、ワークショップ＝双方向型コミュニケーションによって、お互いを“認め合う”ことができる

と教えていただきました。「対話」や「ワークショップ」の重要性について、改めて考えることができました🌟



次に、ワークショップで「協働」についての意見交換を行うために、3つのグループに分かれました。

性別ごとに付箋紙の色を分け、そこに居住年数・名前・アバンセの利用頻度を書いてもらい、それぞれの項目と所属があまり重ならないようにグループに分けます。こうすることで、世代や性別などが程良くバラバラになります。ワークショップを行う際は、様々な立場の考えや意見を聴くことが大切です。

また、まちづくり系ワークショップにおいて、当事者を交えて行うことの大切さもお話しいただきました。例えば、地域に公園を作るときは、自治会役員だけで決めるのではなく、公園を利用する親子にも意見を聴くことが大事。公園を作っていく話し合いの過程に入ってもらうことにより、当事者意識が生まれ、公園ができてからも「私たちの公園」として利用するようになるそうです。まさに、地域の力によるまちづくりですね。そして、地域と行政、公園の設計等に携わる民間との協働事業になっています。



グループに分かれた後は、まず、自分の考える「協働」について、付箋紙につぶやいてみました。そして、そのつぶやきを模造紙に貼りつけ、みんなの「協働」観を共有していきます。

その後、協働がなぜ必要なのか、その背景や現状を実際の事業の事例を紹介していただきながら、協働のイメージをどんどん膨らませていきます。

そして、イメージが膨らんだ後は、協働事業のプラン作りに挑戦です。

まず、グループごとに地域で解決すべきこと、協働事業として取り組みたいことはどんなことか、テーマを決めます。次に、そのテーマがどの段階まで達成できたら良しとするのか、達成目標を決めます。そして、その目標を達成するには、どのような課題があるのか、また、その課題を解決するためには、どのようなプログラムを組みれば良いのかをグループで話し合いながら、まとめていきます。

そして、できあがった協働事業のプランが次の3つです。グループごとに発表してもらいました。

- (1)テーマ:子育て中の買い物・家事のサポート
目 標:佐賀市の各地にサポートセンターを設置する
- (2)テーマ:障害を持つ人の中での居場所づくり
目 標:モデル地区を決め、整備し、広げていく
- (3)テーマ:大学生が一人暮らしの高齢者のところに下宿する



目 標:2年後、10件

参加者のみなさんは、「協働」というと何か難しいことのようなイメージを持っていた方も多かったようですが、講座が進むうちに、身近なものに感じられるようになったようです。

実際に、私たちは知らず知らずのうちに「協働」事業に関わっています。地域の清掃活動も行政と地域の協働の一つです。「協働」という言葉が声高に言われる前から、私たちは住みやすい地域を作るために「まちづ

くり」に関わっていました。



この講座で作ったプランも、ぜひ地域や団体に持ち帰って、地域に合った形で実践していただきたいと思います。

みなさんの近況や活動報告を[佐賀県立生涯学習センターのfacebookページ](#)に、どしどし投稿してください。お待ちしております！

それでは、「つなぎ塾」第2回(2/23)でお会いしましょう。

第2回目は、NPOマーケティングを支援するプロボノ集団「テントセン」代表の「イケダハヤト」さんにソーシャルメディアの活用術についてお話しいただきます。お楽しみに❖

🌸受講生の声🌸

- 〇 全体的にアットホームな雰囲気。協働がイメージできるまでのプロセスが時間内に組み込まれていた。
- 〇 「対話から～」の必要性を感じた。
- 〇 いろんな手法を実践できたので、これから試してみたい。
- 〇 他の県の活動や仕組みがわかって良かった。(活動は、なかなかメディアに登場しないので)
- 〇 いろんな見方・意見を聞くことができた。

[◀ 戻る](#)

[↑ このページの上へ](#)

アバンセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

[アクセス・交通機関のご案内](#) ▶

[お問い合わせ/ご意見・ご要望](#) ▶

アバンセ
佐賀県立男女共同参画センター・佐賀県立生涯学習センター

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)
TEL:0952-26-0011 FAX:0952-25-5591

【指定管理者】[公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

Copyright (C) 2011 Avance All rights reserved

開館時間

火曜～土曜日:8時30分～22時00分
日曜・祝日:8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで